

令和7年度 いわてデジタルトランスフォーメーション推進連携会議

日時：令和8年1月27日（火） 10時45分～12時

場所：ホテルニューカリーナ 2階 アイリス

次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 報告
 - (1) 令和7年度の取組実績
 - (2) 部会活動の成果事例
 - (3) 構成団体の取組紹介
- 4 「いわてデジタルトランスフォーメーション大賞2025」の表彰
- 5 閉会

令和7年度いわてデジタルトランスフォーメーション推進連携会議 出席者名簿

(敬称略)

	所属	職	氏名	備考
会長	岩手県	知事	達増 拓也	
副会長	岩手県商工会議所連合会	会長	谷村 邦久	
	岩手県情報サービス産業協会	会長	法貴 敬	
	公立大学法人岩手県立大学	学長	鈴木 厚人	欠席
委員	岩手経済同友会	代表幹事	岩山 徹	(代理)専務理事・事務局長 中島 勝志
		代表幹事	畠山 大	
	岩手県商工会連合会	会長	高橋 富一	(代理)企業支援グループ主任 多田 憲治
	岩手県中小企業団体中央会	会長	小山田 周右	(代理)専務理事 瀬川 浩昭
	岩手県経営者協会	会長	石塚 恭路	(代理)専務理事 藤田 芳男
	岩手県銀行協会	岩手銀行取締役 常務執行役員	岸 真英	(代理)常務理事 及川 崇
	岩手県信用金庫協会	会長	浅沼 晃	(代理)事務局長 藤原 修
	岩手県農業協同組合中央会	代表理事長	伊藤 清孝	欠席
	岩手県森林組合連合会	代表理事長	中崎 和久	欠席
	岩手県漁業協同組合連合会	代表理事長	山崎 義広	欠席
	岩手県建設産業団体連合会	会長	向井田 岳	(代理)常務理事 村上 純也
	国立大学法人岩手大学	学長	小川 智	(代理)研究・地域連携部長 濱田 秀樹
	岩手県市長会	会長	内館 茂	(代理)事務局長 古館 和好
	岩手県町村会	会長	鈴木 重男	欠席

ア DX専門人材による講演等

CIO補佐官 (NTTドコモ相談役 吉澤 和弘 氏)

時期	場所	内容	対象
6月9日	県庁	人口減少下でのDX活用について ～AIの現状と活用を踏まえて～	県部局長
11月21日	オンライン	「いわてDX大賞2025」審査委員会	応募取組の審査
1月27日	オンライン	「いわてDX大賞2025」講評	応募取組の講評



DXコーディネーター (芝浦工業大学名誉教授 村上 雅人 氏)

時期	場所	内容	対象
9月11日	一戸町	人間と科学とAI	北桜高等学校1年次87名
9月12日	一戸町	AIは人間を超えるか？	奥中山中学校3年生17名
2月12日 予定	花巻市	データサイエンスの基礎と応用	花巻農業高等学校



①商工部会

(中小企業デジタル化支援ネットワーク)

1 全体会議

- (1) 時期 令和7年5月23日
(2) 内容 構成団体に対する事業内容説明



2 デジタル化推進ワークショップ

- (1) 対象 岩手県所在の中小企業、個人事業主
(2) 時期・場所

時期	場所
9月10日	久慈地区合同庁舎
9月11日	いわて産業振興センター
10月1日	釜石地区合同庁舎
10月2日	遠野まちおこしセンター

(3) 内容

- ・中小企業のデジタル化事例紹介と演習
- ・自社の「問題点の洗い出し」と「課題整理」
- ・デジタル化を優先する課題の選定
- ・課題解決方法の検討



3 専門家派遣

- (1) 対象 岩手県所在の中小企業等
(2) 支援内容 中小企業等のデジタル化の取組に対し、専門家が訪問し、課題の解決からツールの導入までを支援

4 業態別デジタル化推進セミナー

- (1) 対象 岩手県所在の中小企業、個人事業主
(2) 時期 令和7年7月14日
(3) 場所 いわて産業振興センター
(4) 内容
- ・自社のあるべき姿とは
 - ・中小企業のデジタル活用事例
 - ・IT導入、活用からDX推進へのステップ

②農業部会

(いわて農業DX推進連携会議)



1 連携会議

時期	内容
6月9日	令和7年度第1回会議(各機関・団体における今年度の取組内容の共有、意見交換)
2月予定	令和7年度第2回会議(各機関・団体における今年度の取組実績・今後の取組方向)

2 令和7年度の主な取組

(1) 技術開発・実証

項目	内容
自動操舵農機をフル活用した効率的な栽培体系	土地利用型作物(大豆・雑穀)の高精度播種・機械除草体系を開発
施設果菜における生育診断、出荷予測技術	施設果菜類(トマト・きゅうり)の栽培・経営管理に活用可能な生育診断・出荷予想技術を開発
AIを活用した放牧監視	AIによる画像解析を活用した放牧牛の頭数確認技術を実証

(1) 技術開発・実証 (続き) ドローン防除

項目	内容
スマート農業技術等の組み合わせによる収益性向上モデル	土地利用型野菜(たまねぎ・ばれいしょ)の収益性向上モデルを実証(直進アシストトラクタ、ドローン、栽培管理システム)

(2) 現地技術交流会 《デジタル人材の育成》

時期	場所	内容
6月16日	北上市、花巻市	有機農業向け水稻省力除草技術 (76名参加)
6月20日	二戸市、軽米町	自動操舵技術の利用 (40名参加)
8月22日	滝沢市	ロボット技術による省人化 (75名参加)

(3) いわてグリーン農業アカデミー 《デジタル人材の育成》

スマート農業技術を活用した有機農業や環境保全型農業の実践者を育成 (研修生18名)

③行政デジタル化部会

(岩手県電子自治体推進協議会)

1 総会

時期	内容
6月19日	第1回総会 ①令和7年度執行体制、②令和7年度事業計画
2月予定	第2回総会 ①令和7年度事業報告、②令和8年度事業計画(案)



2 情報セキュリティクラウド事業部会

時期	内容
5月27日	セキュリティクラウド運用説明会
10月8日、 9日、14日	第1回部会 ①クラウド利用料の実績、②クラウドの更新検討、③R8負担金の概算額
1月8日、 13日、14日	第2回部会 ①R7運用費負担金の確定

3 岩手県電子申請サービス事業部会

時期	内容
5月28日	共同調達・共同利用に係るシステム導入状況及び参加意向等調査
8月21日	共同調達・共同利用に係る取組予定に関する説明会
9月30日	共同利用市町村を対象とした説明会(新機能、活用事例)

④デジタル活用支援部会

時期	内容
2月12日 予定	いわてSociety5.0フェア(対象:自治体職員、企業等) いわてDX大賞受賞団体による取組紹介、県内市町村の優良DX事例紹介、県内事業者によるDX事例・関連ソリューション紹介

⑤教育部会

(岩手県学校教育DX・学力育成協議会)

1 協議会

時期	内容
4月24日	第1回協議会(学びの改革プロジェクト、WGの取組予定 等)
11月13日	第2回協議会(WGの検討状況 等)
2月予定	第3回協議会

2 学校教育DX推進WG

(1) 検討事項

- ・タイピング指導に向けた取組
- ・「教育DXロードマップ」への対応 等

(2) 開催状況

12月までに5回開催済み(年度内計6回予定)

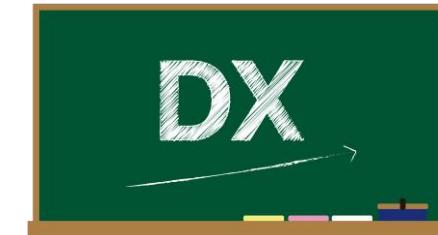
3 GIGA端末共同調達検討WG

(1) 検討事項

- ・調達に向けた仕様書の検討

(2) 開催状況

1月までに全4回開催開催済み



4 統合型校務支援システム検討WG

(1) 検討事項

- ・活用状況の把握
- ・早急に対応が必要な事項の確認 等

(2) 開催状況

12月までに4回開催済み(年度内計5回予定)

⑥防災部会

(復興防災DX研究会)

1 研究会

時期	内容
7月15日	令和7年度防災DXに係る本県の取組、避難者把握システムの実装、災害時ドローン導入マニュアル(プロトタイプ版)の更新
11月6日	「災害時ドローン導入マニュアル(プロトタイプ版)」の更新の方向性、「いわて防災DX展(仮称)」の開催予定、避難者把握システムの実装

2 避難所運営デジタル化実証事業

時期	実施市町	内容
6月29日	花巻市	コミュニケーションアプリ等を活用した避難所受付の効率化
8月30日	盛岡市	※一部会場では、「複数市町村での同時集計」や「事前シナリオなしのブラインド型」等を実施
8月31日	奥州市	
10月5日	大船渡市	
10月26日	二戸市	
11月8日	釜石市、大槌町	



3 災害時ドローン導入マニュアル(プロトタイプ版)の更新

プロトタイプ版 概要

- 対象者：市町村職員
- ページ数：全14ページ(表紙含む)
- 公開日：令和7年3月31日

更新版 概要

- 対象者：市町村職員
- ページ数：全35ページ程度予定
- 公開日：令和8年3月頃予定

国の動向を踏まえ、年度末(3月頃)に県ホームページでの公開を目指す。

災害時ドローン導入
マニュアル
(プロトタイプ版 R7年3月)

復興防災部・復興危機管理室

4 「いわて防災DX展」の開催

研究会の成果の県内波及を目的として、避難者把握システムやドローンの実証成果報告・操作体験、防災DXに関連した講演等を行う「いわて防災DX展」を開催

- 実施時期：1月27日(火)・28日(水)の2日間
- 実施場所：岩手教育会館
- 対象：自治体職員、学生等一般の方

⑦データ利活用部会

主に自治体職員を対象として、以下の研修を実施。

1 データ利活用スキル形成研修（県主催）

時期	場所	内容	受講者数
7月10日～11日	北上市	・データ分析の基礎	19名
7月24日～25日	宮古市	・アンケート設計 ・DXとは何か	9名
10月15日～16日	二戸市	※全会場共通	14名
10月22日～23日	盛岡市		21名
			計 63名



2 データサイエンス・リカレント講座（岩手県立大学主催）

時期	場所	内容	受講者数
7月17日	盛岡市	業務革新！自治体×生成AI 実践講座	44名
8月6日～27日	オンライン	EBPM実践コース	延べ121名
8月21日	雫石町	DX推進リーダー育成研修	38名
8月22日	紫波町	DX推進リーダー育成研修	44名
			計 延べ247名



1 中小企業デジタル化支援ネットワークの支援事例（商工部会）

対象	内容	主な成果
①株式会社 麹屋もとみや (八幡平市／こうじ製造・販売業)	<ul style="list-style-type: none"> 顧客増加の中、アナログな管理体制で業務を行っていた。 残業の恒例化や管理が属人化状態となっていたため、解消のため管理システムを導入し、業務改善に取り組んだ。 また、連動して可視化される状態をつくり、作業の属人化を改善する取組も行った。 	<ul style="list-style-type: none"> バックオフィスの業務効率化で月末・月初の残業ほぼ無し。 勤怠管理や給与計算の作業時間が、約10分の1に短縮。
②石村工業 株式会社 (釜石市／機械器具製造業)	<ul style="list-style-type: none"> 小規模事業者ならではの強みとして、融通が利くカスタマイズを提供していたが、営業と製造の情報共有がうまくいかず、製品製造に時間を要するケースが発生。 事前に管理する側、現場での作業側の双方で変えることどうなるのかを想定した上で、ITの活用による業務効率化を積極的に推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 自社サーバーでの情報管理を行うことで、情報共有と顧客の資料検索を効率化。 社員との問題の共有ができ改善のアイデアが自発的に出るようになった。
③合資会社 後藤屋 (奥州市／菓子製造・販売業)	<ul style="list-style-type: none"> 手書きの受注受書・納品伝票により計算ミスの発生や、在庫確認のために店舗スタッフが何度も工場を往復するなど、詳細な販売データがなく感覚判断の業務が多かった。 ボトルネック工程の見直しから、デジタルツールを導入し、データで確認、具体的な計画を立てられるよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> データで確認でき、具体的な計画の立案が可能になってきた。

事例発表会



2 農業DXの事例（農業部会）

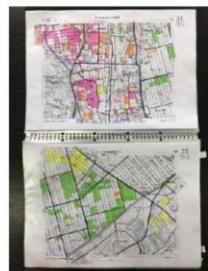
（1）経営・生産管理システム（GeoMotionアプリ）の高度利用による労働生産性向上

（取組内容）

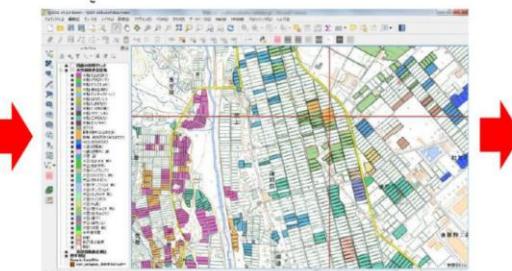
- 当該経営体は、農地の分散化や基盤整備の遅れといった地域課題に対して、効率的な営農体制の確立を目指して規模拡大を進め、現在は本州最大規模の1,000haを超える農地に、水稻、大豆、小麦、そば等の作物を中心に、肥育牛（黒毛和牛）の生産と加工も含めた複合経営を行っている。
- 小区画のほ場が多く、ほ場が点在していることから、作業の効率化に向けてスマート農業技術の導入を積極的に進めている。
- 営農管理については、従来の紙ベースから、PCで管理できる経営・生産管理システム、さらにスマートフォン（タブレット）で管理できる経営・生産管理システムを導入している。

（成果）

- 作業状況の見える化や情報の共有化を図ることで、労働生産性の向上や従業員の育成につなげ、規模拡大や新規事業開拓などにつなげている。



紙による管理



PCによる管理（QGIS）



スマートフォンによる管理
(GeoMotion)

（2）肉用牛繁殖経営体における繁殖・分娩管理システムの複合利用による生産性向上の取組事例

（取組内容）

- 当該経営体は、県内有数の大規模和牛繁殖経営体であり、家畜の多頭飼養に対応するため、全個体の繁殖データをPCソフトにより整理し、繁殖に係るスケジュール管理を行っている。
- 牛歩10を活用した発情発見により、適切なタイミングで人工授精を実施するなど繁殖成績の向上に努めている。
- さらに、分娩対応に当たっては、分娩監視カメラと分娩感知システムの併用により、分娩事故の発生を未然に防いでいる。

（成果）

- これらの農業ICT機器の複合的な利用により、家畜飼養管理に係る労力軽減が図られ、比較的少ない人数による大規模な家畜飼養管理を実現している。

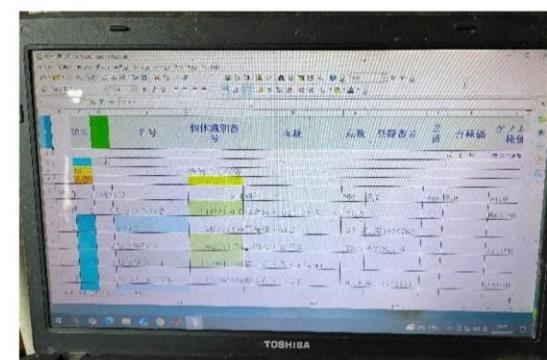


図1 PCによる家畜個体管理



図2 牛歩10センサ装着状況（前脚）

3 学校教育におけるDXの推進（教育部会）

（1）GIGA端末の共同調達

GIGA端末共同調達検討WGにおいて検討した仕様書をもとに、令和7年度の共同調達を実施。

○ 令和7年3月28日公告

○ 5月1日入札（事業者決定済み）

調達予定台数

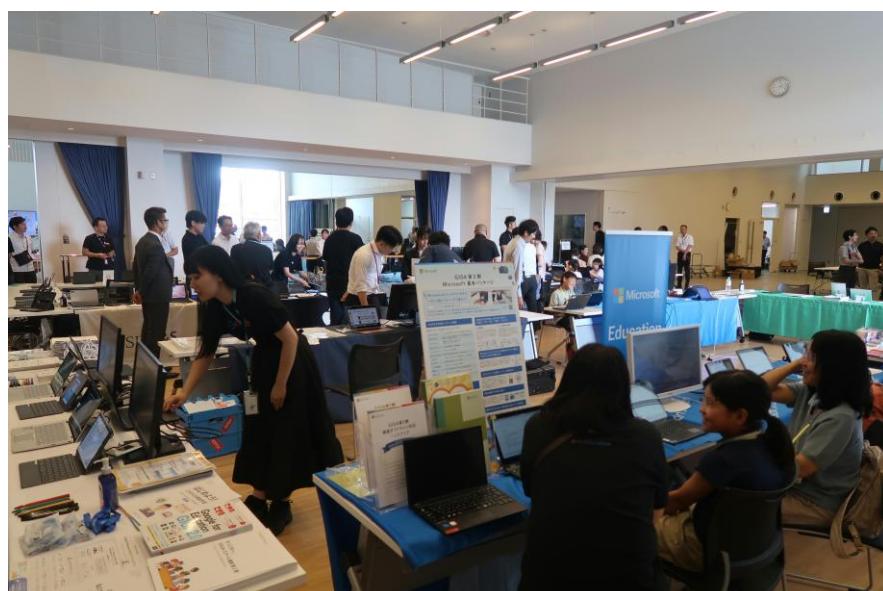
令和7年度

14市町村+県
20,964台

令和8年度

19市町村
64,019台

※令和8年度は別途、調達を実施



GIGA端末実機体験会

（2）岩手県統合型校務支援システムの運用

令和6年度

運用開始市町村

R6.4月 11市町村と県で運用開始
年度途中から利用開始 3市

令和7年度

運用開始市町村

R7.4月 25市町村で運用開始

（運用状況）

1. グループウェア活用状況

確認対象：第2期運用開始14市町村（初年度期中稼働含む）の小・中学校教職員
月に10日以上ログインした教職員の人数（出勤簿データにて確認）

R7.4月			R7.9月		
人数	全職員数	割合	人数	全職員数	割合
2398	3278	73.2%	2793	3288	84.9%

2. 校務支援システムの入力状況

確認対象：各校1クラス（小学校：6年1組、中学校：3年1組）

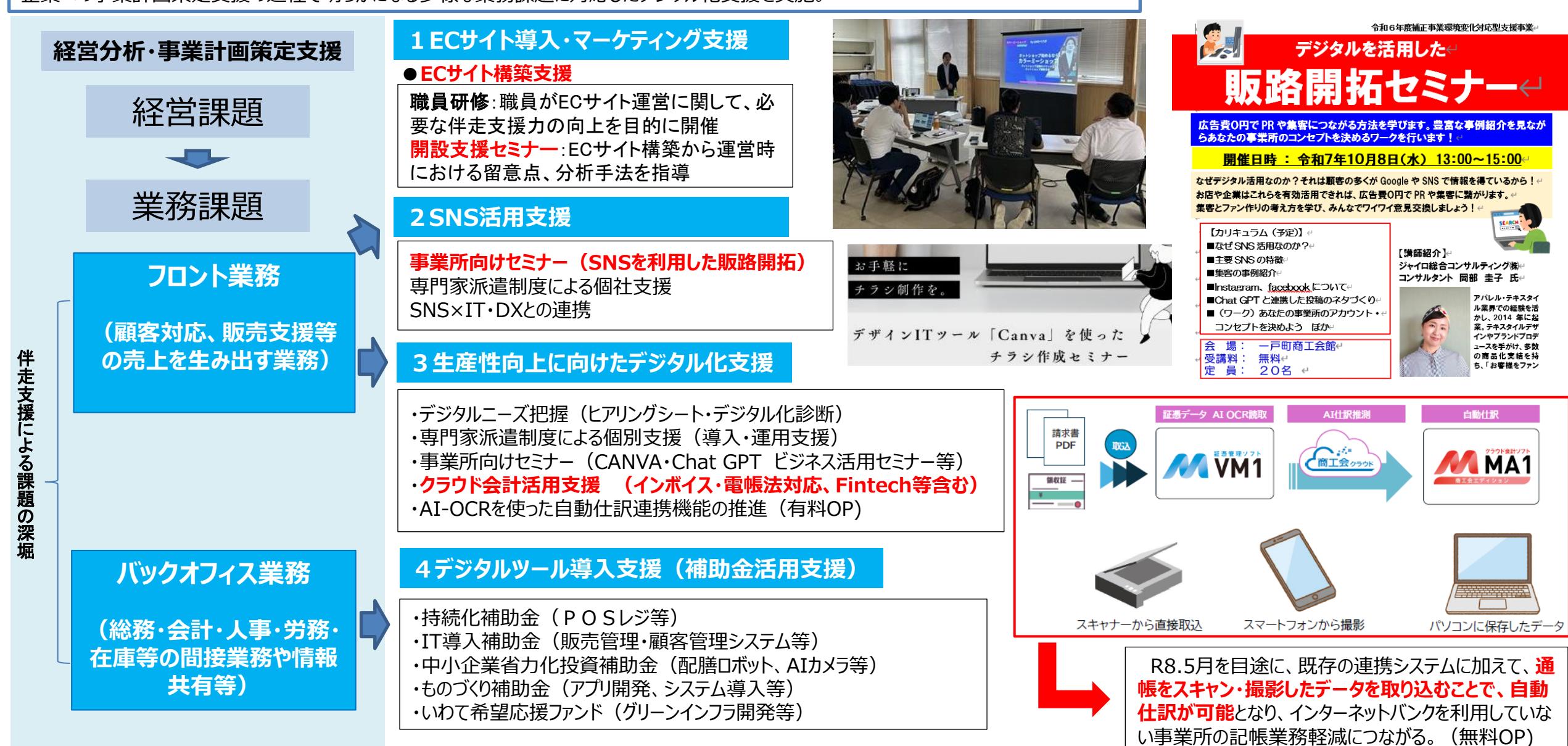
確認対象クラスで健康観察簿・出席簿データの入力がされているか

R7.4月				
健康観察	出席簿	学校数	健康観察割合	出席簿割合
162	181	193	83.9%	93.8%

R7.9月				
健康観察	出席簿	学校数	健康観察割合	出席簿割合
173	187	193	89.6%	96.9%

1. 岩手県商工会連合会

企業への事業計画策定支援の過程で明らかになる多様な業務課題に対応したデジタル化支援を実施。



デジタル化支援 1 クラウド型記帳システムの活用 岩手県商工会連合会

1.1 クラウド型記帳システムの活用と外部連携による効率化

①会員企業の業務とデジタル化の推進



②金融機関データと記帳システムとの連携による自動仕訣化

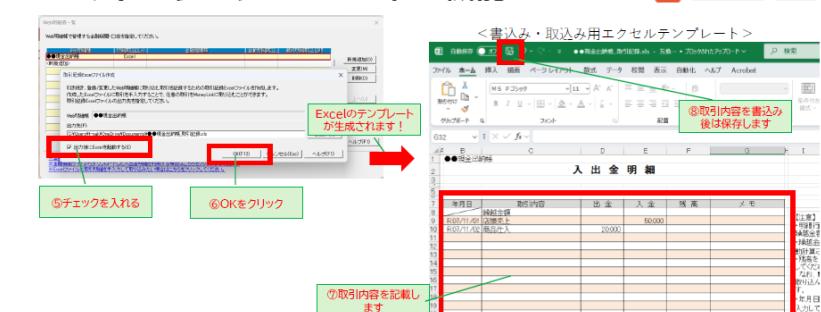


③AI-OCR機能により、請求書・領収書データを読み取り自動仕訣化



④Excel×記帳システムのデータ連携機能の利用推進

■マネーリンク Excel取込機能



手書きの日計表を使用している事業者の中で、Excelなら使えるという方に対し、指定のフォーマットのExcelデータに直接入力後、記帳担当者にデータを送ることで職員の入力業務を大幅に軽減！事業者のデジタル化への第一歩の効果も！

1.2 クラウド型記帳システム 利用者向け研修会を県内4か所にて開催

①システムの連携機能、便利機能を直接利用者に対して伝える場を提供

開催目的

- ・利用者の記帳業務の効率化
- ・身近なシステムでのデジタル化のメリットを教授し、DXへの一步として

参加者・職員からの意見

- ・ほとんどの参加者が無料連携システムの導入・活用を希望
- ・参加職員が有料連携システムの導入を検討>商工会のDXへの取組

次年度以降の取組

- ・商工会職員向けに連携システムの利用、推進方法の研修会を検討
- ・開催希望商工会にて、利用者向け研修会を開催

②研修会開催後のアンケート内容（抜粋）

A:普段から使っていても、機能として使っていないものがあつたり、マネーリンク機能については知らないことばかりだったので、大変有意義でした。

B:マネーリンクを使用すれば、経理に掛ける時間が減って、夫の業務を手伝える時間が増えるので、とても良いアプリだと思います。

C:今回の研修会は利用者向けとのことでしたが、商工会の全職員が知っていてほしい研修でした。

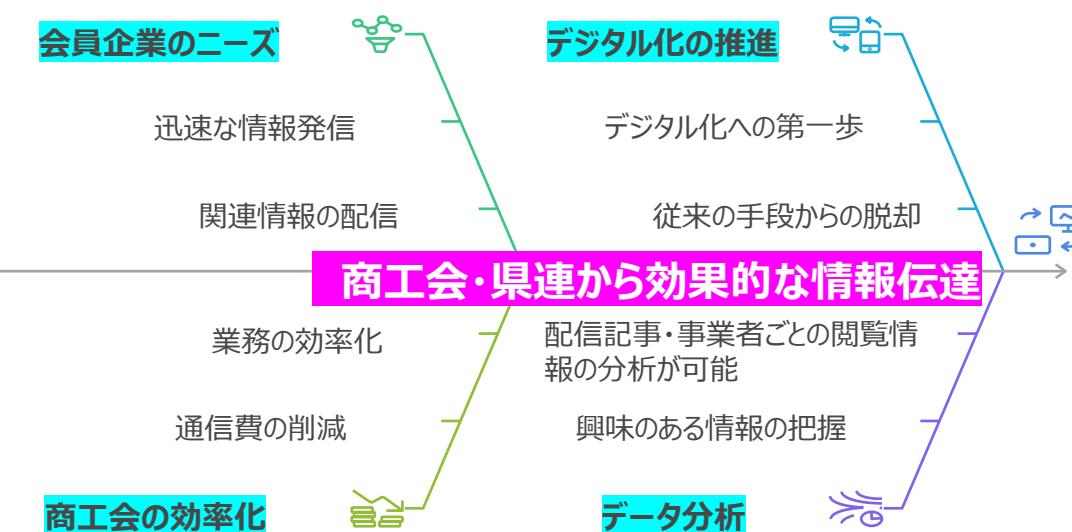
D:AI-OCR機能に関して、小規模事業者がそれぞれ利用するのはハードルが高いが、商工会が業務効率化を推進するために非常に有用だと感じた。今後導入を検討したい。

※研修の様子（岩手県商工会連合会会場）



2.1 情報発信ツール 岩手県商工会連合会公式アプリ&HP連携

①施策活用検討の迅速化、デジタル化の利便性、付加価値に対する気づきの醸成を促進！



②商工会アプリと各商工会ホームページのRSS連携による情報発信業務の効率化



2.2 商工会アプリ推進状況、情報発信力の強化

①商工会アプリ登録者数の推移

R7.4.1時点登録者数	1,264者
R7.12.1時点登録者数	1,344者 (+80者)

②発信記事閲覧事業所数の推移

下記期間における1記事当たりの閲覧事業所数	
・R6.9.1～R7.3.31期間	：平均21.8事業者
・R7.4.1～R7.9.30期間	：平均28.3事業者

※今年度は特に重要な通知は、プッシュ通知機能を使って利用者の記事見逃しを防止。

③HP連携による情報発信力の強化

商工会アプリ×商工会HP連携	
R7.4.1時点	➤ 14商工会
R7.12.1時点	➤ 16商工会

これまでHPによる情報発信については、掲載業務に係る労力（手間）や、個々の職員の情報発信に関するリテラシーのばらつき等の問題により商工会ごとに格差が大きかった。

情報発信手法を商工会アプリに1本化することにより、各商工会での業務効率化が図られ、情報発信の頻度・質ともに平準化が図られている。



Training gym NAM 無人トレーニングジムの受付システムの構築

事業所の課題：新規事業立ち上げを通して、事業計画の作成と運営体制の構築等課題が山積。DXを活用し、入館・管理システムの構築支援

（1）受付を有人対応とするか、無人対応とするか。売上計画・経費の面から考察。

営業時間10～22時の10時間

- ・有人対応：1,000円/時間×12×30日⇒360,000円

- ・無人対応：システム構築費用約200,000円、月額費用65,000円。

（2）見学・体験あり、入会手続き、お支払いもWEBで完結！

（3）QRコードによる入館情報を公式LINE、HPに掲載。施設利用状況の確認が可能に。

（4）ほぼ無人で事務の運営が可能に！

従業員は見学・体験対応と、定期的な清掃と利用後のメンテナンスのみ。

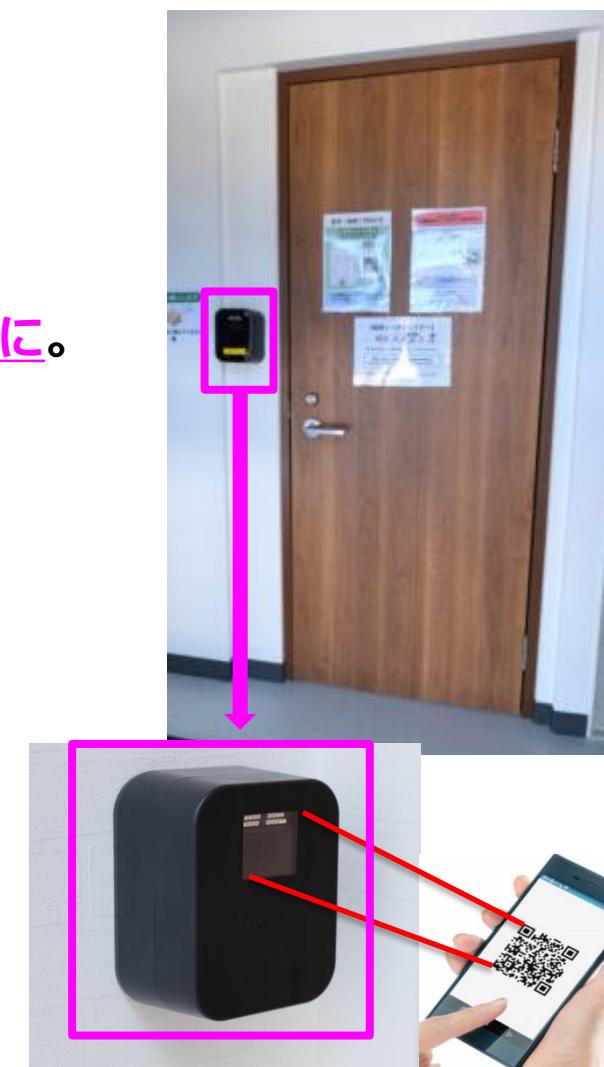


見学・体験予約

Web入会

利用状況を一目で確認！好きな時間に予約可能！

12/8 (月)	12/9 (火)	12/10 (水)	12/11 (木)	12/12 (金)	12/13 (土)	12/14 (日)
		10:00 - 11:30 男女兼用		10:00 - 11:30 男女兼用		
11:30 - 13:00 男女兼用						
13:00 - 14:30 男女兼用						
14:30 - 16:00 男女兼用						
16:00 - 17:30 男女兼用						
17:30 - 19:00 男女兼用	17:30 - 19:00 男女兼用	17:30 - 19:00 男女兼用		17:30 - 19:00 男女兼用	17:30 - 19:00 男女兼用	17:30 - 19:00 男女兼用
19:00 - 20:30 男女兼用						
20:30 - 22:00 男女兼用						



2. 岩手県中小企業団体中央会

【次世代コーディネータ育成】リカレント研修プログラム(概要)

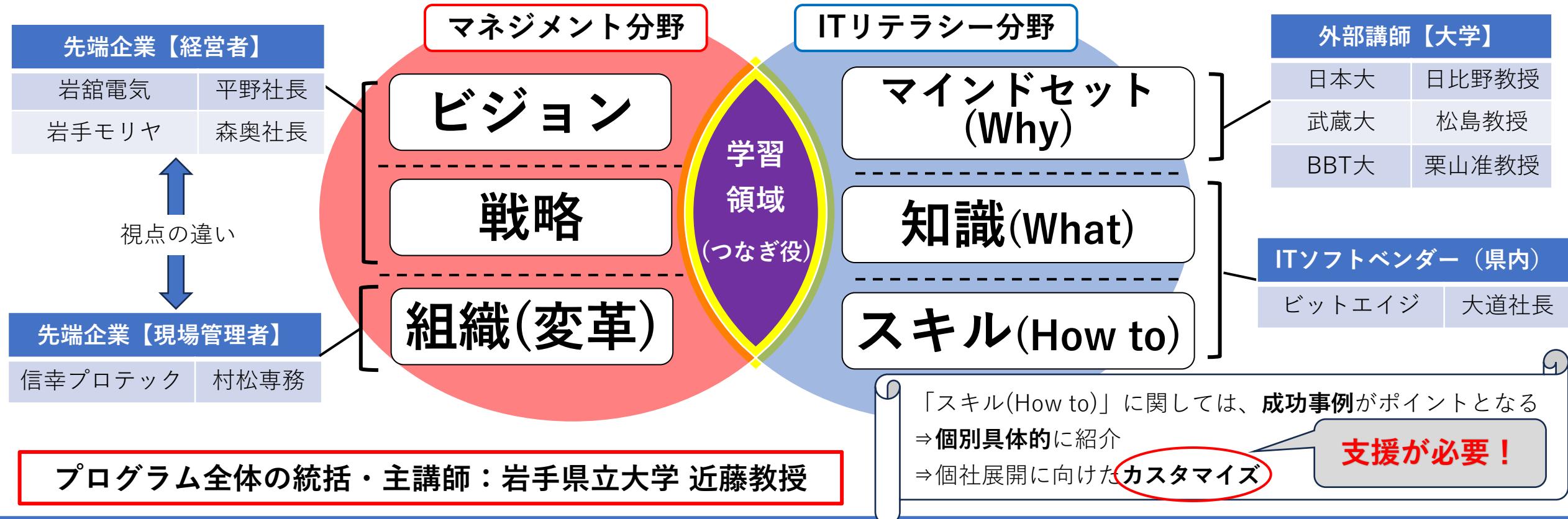
(令和6補正リカレント教育
エコシステム構築支援事業※)

目的：『マネジメントリテラシー』×『ITリテラシー』を兼ね備えたコーディネータの育成
⇒ 中小企業の経営者を伴走支援！！

※文科省事業
実施母体：岩手大学
事業受託：中央会

プログラムイメージ

- 各分野それぞれに階層を設け、階層ごとのセミナーを5日間開催（令和7年11月18日～12月18日）
- 講師には各階層に精通したプロフェッショナルを招聘、岩手県内の先端企業からも講師登壇
- 当プログラムは中小企業支援機関の若手・中堅職員延べ12名が受講



1 目的

岩手県内の企業、各種団体等のDXにつながる取組事例を広く募集し、優良事例を表彰するとともに、その事例を広く紹介することによりデジタル化に関する取組の更なる普及を図り、本県のDX推進に寄与することを目的とする。

2 募集対象

岩手県内で事業活動を行う企業、法人及び団体並びに各自治体等の公的機関

3 募集内容

- ・デジタル技術を利用した業務効率化や、働き方改革、レガシーからの脱却、企業・地域の風土改革に資する取組
- ・令和7年9月までに実施、または継続して実施中であり、各産業や行政及び地域活動等において成果が出ているもの

4 募集期間

令和7年7月1日～令和7年10月22日

5 審査

佐々木副知事を委員長とし、DXに関する有識者及びいわてDX推進連携会議の構成員で構成する審査委員会(11月21日)において、以下の基準に基づき審査を行い、表彰対象を決定した。

- ①取組による効果、②創意工夫や先進性、③他事業等への波及の可能性や地域活性化への期待



6 応募一覧(5団体)

応募団体〔取組名称〕	取組の概要	審査結果
SOFTDOING株式会社 AI伴走型DXで実現する定時退社革命 ~地域の子どもたちの未来を創る働き方改革~	全社業務のクラウド化とAI伴走支援による半自動化を推進し、業務効率化・コスト削減・売上回復を実現	大賞
東日本旅客鉄道株式会社 「誰かを思う心」が、AIを育て、組織を強くする。~「ひとりの貢献」が時を超えて仲間に届く。思いやりDXの実践~	社内ナレッジ共有AI「Qast(キャスト)」導入と独自の運用設計により、知識の集約・活用、業務効率化、協力意識の醸成を実現	優秀賞
一関市 生成AIによる生活保護業務のDX化 ~現場起点の共創による業務革新~	生成AIを活用した訪問面談支援システムを構築し、市民サービス向上と業務効率化を実現	市民サービス向上賞(特別賞)
奥州市 [奥州市のBPRの取組について]	全庁的なBPR推進のため、課題把握・ワークショップ・報告会等を通じて業務改革を継続的に実施し、職員の意識変革と実践を促進	
株式会社アベヤス [人材課題解決・組織強化のためのDX]	業務属人化や情報共有不足などの課題に対し、kintone等のデジタルツールを活用し、業務効率化やコミュニケーション促進を実現	